

徳山大学公立化に対し市民の意見を取り入れる機能を高めることを求める決議について

本市議会は、徳山大学公立化に対し市民の意見を取り入れる機能を高めることを求めるため、別紙のとおり決議するものとする。

令和3年10月19日 提出

提出者	周南市議会議員	井	本	義	朗
		遠	藤	伸	一
		魚	永	智	行
		小	林	正	樹
		篠	田	裕二	郎
		島	津	幸	男
		清	水	芳	将
		長	嶺	敏	昭
		古	谷	幸	男
		細	田	憲	司

(別紙)

徳山大学公立化に対し市民の意見を取り入れる機能を高めることを求める決議

徳山大学の公立化については市民説明会、出前トーク等も経て、令和3年8月18日周南市議会本会議において、「公立大学法人周南公立大学定款の制定について」を含む4議案が可決され、令和4年4月1日の周南公立大学開学が決定した。

しかしながら、徳山大学の公立化は周南公立大学開学の決定がゴールではなく、本市の発展に資する、また市民に親しまれる大学となるよう努めていかなければならない。

「周南市『徳山大学公立化のより良いあり方検討委員会』設置条例制定について」署名が集められ、今臨時会に付議されたところであるが、市民の声に耳を傾けることはこれからも必要である。

大学の自治には当然踏み込めるものではないが、市においては、今後も積極的な情報開示に努め、継続的に市民の意見を取り入れる機能を高めることを強く求める。

以上、決議する。

令和3年10月19日

山口県 周南市議会